

成分名	オクチルドデカノール
英名	2-Octyldodecanol
CAS No.	5333-42-6
収載公定書	薬添規 外原規 EP NF
A TOXNET DATABASE へのリンク	<a href="https://chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/5333-42-6">https://chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/5333-42-6</a>

投与経路	用途
一般外用剤	基剤、乳化剤、溶剤、溶解補助剤

## 1. 単回投与毒性

### 1-1 ラット

- ① 5匹のラットにオクチルドデカノール 5 g/kg を経口投与した結果、明らかな毒性は認められなかった。<sup>1)</sup> (CTFA, 1978)
- ② 10匹のラットに 10.2% オクチルドデカノール含有口紅を 50%に希釈し、25g/kg (オクチルドデカノールとして 1.28 g/kg)を経口投与した結果、死亡は認められなかった。<sup>1)</sup> (CTFA, 1977)

### 1-2 モルモット

6匹のモルモットの有傷または無傷皮膚にオクチルドデカノール 3.0 g/kg を閉塞塗布し、7日目に剖検したところ明らかな毒性は認められなかった。<sup>1)</sup> (CTFA, 1978)

以下については該当文献なし

## 2. 反復投与毒性

## 3. 遺伝毒性

## 4. 癌原性

## 5. 生殖発生毒性

## 6. 局所刺激性

- ① 6匹のウサギに 100%オクチルドデカノールを点眼した。眼平均刺激性評点(最高 110)は、1日目では 4、4日目では 0であった。<sup>1)</sup> (CTFA, 1978)
- ② 同様に 6匹のウサギに 100%オクチルドデカノールを点眼した結果、眼平均刺激性評点は、1日目および2日目では 1、3日目では 0であった。<sup>1)</sup> (CTFA, 1978)
- ③ 9匹のウサギの背中に100%オクチルドデカノールまたは30%オクチルドデカノールを24時間閉塞塗布した。皮膚刺激指数(0~4)は、100%オクチルドデカノールでは 1.131) (CTFA, March 1, 1973)、0.51) (CTFA, July 28, 1978)および 01) (CTFA, Oct. 5, 1979)であり、30%オクチルドデカノールでは 01) (CTFA, 1979)であった。

## 7. その他の毒性

該当文献なし

## 8. ヒトにおける知見

### 8-1 誤用

該当文献なし

### 8-2 その他

- ① 40人の被験者に100%オクチルドデカノールを24時間閉塞塗布したところ、1人の被験者に軽い炎症がみられた。<sup>1)</sup>(CTFA, 1973)
- ② 50人の健常男性の背部に0.05gのオクチルドデカノールを48時間閉塞塗布した。処置後30分に評価したところ皮膚の炎症はみられなかった。<sup>1)</sup>(Motoyoshi et al., 1979)
- ③ 1664人の被験者に30%オクチルドデカノールを貼付したところ、6人でアレルギー皮膚反応がみられた(0.36%)。<sup>1)</sup>(Hjorth & Trolle-lassen, 1963)
- ④ 20人の被験者に4%オクチルドデカノール含有保湿クリームを24時間閉塞塗布したところ、1人の被験者で軽い炎症(0.03、最大:4)がみられた。<sup>1)</sup>(CTFA, 1979)
- ⑤ 23人の被験者に10.2%オクチルドデカノール含有口紅を貼付し、光感作性試験で評価したところ、光毒性および光アレルギー性はみられなかった。<sup>1)</sup>(CTFA, 1978)

## 引用文献

- 1) Anonymous. Final report on the safety assessment of stearyl alcohol, oleyl alcohol and octyl dodecanol. J. Am. Coll. Toxicol. 1985; 4: 1-29